

## 多元集団の意思を統合する公共選択

### マルチ・ステークホルダーが本音をたたかわせるリスクコミュニケーション

日時：平成 17 (2005) 年 6 月 4 日(土) 9:00～17:40(受付開始は 8:30～)

会費：無料 (懇親会のみ会費 2,000 円)

会場：千葉商科大学 図書館

主催：政策情報学会、千葉商科大学政策研究科リスクコミュニケーション研究会

共催：日本学術会議 経済政策研究連絡委員会(担当：環境と生活基盤小委員会)

日本地域学会、日本環境共生学会、公共選択学会、日本計画行政学会、

日本社会情報学会、日本不動産学会

(プログラム)

9:00~9:10	リスクコミュニケーションの科学 - (学術社会への責務) 開会の言葉 熊田禎宣 図書館 5F 会議場 (受付開始：8:30 から)
9:15~11:45	<b>ワークショップ</b> ・ <b>ショップ1</b> 図書館 4F L3 会議室 テーマ：地域防災リスクコミュニケーション 座長：廣井脩 / 報告者：仲間妙子、宮崎緑、六十里繁 / 討論者：吉川忠寛、鈴木敏正
	・ <b>ショップ2</b> 図書館 3F L1 会議室 テーマ：政策評価リスクコミュニケーション 座長：藤川吉美 / 報告者：東信男、樹下明、出口弘、吉田大悟 (熊田禎宣) / 討論者：斉藤参郎、朝倉暁生、和泉潤
	・ <b>ショップ3</b> 図書館 3F L2 会議室 テーマ：選択統合リスクコミュニケーション 座長：須藤修 / 報告者：熊田禎宣、富山慶典、八田達夫 / 討論者：黒川和美、廣松毅 名前が明記してある人以外の参加も可
11:50 ~ 13:20	政策情報学会ワークショップ企画委員会 7号館 2F 会議室
13:30 ~ 13:40	「国民の声がとどく政策評価の方法」(地域社会への責務) 図書館 5F 会議場 座長：廣松毅 東京大学教授 日本学術会議第3部会員
13:40 ~ 14:10	演者：井関利明 千葉商科大学政策情報学部長 演題： 政策情報学会による地域貢献
14:10 ~ 14:40	演者：尾島俊雄 早稲田大学教授 日本学術会議第5部会員 演題： 安心と安全のまちづくりに科学技術をどう使うか、そのアセスメント
14:40 ~ 15:10	演者：ベンジャミン・フルフォード 「フォーブス」アジア太平洋局長 演題： 本音の真実を書かない日本のマスコミはリスクコミュニケーションが不得意(仮)
15:10 ~ 15:30	演者：熊田禎宣 千葉商科大学教授 日本学術会議第3部会員 演題： リスクコミュニケーションの「科学の駆け込み寺」
15:30 ~ 16:00	<b>フロアとのコミュニケーション</b>
16:20 ~ 17:40	パネル討論「未来の幸福づくりの公共選択」(未来社会への責務) 図書館 5F 会議場 座長：酒井泰弘 宮崎緑 パネリスト：東信男、谷口武俊、出口弘、廣松毅、福井秀夫
17:50 ~ 19:00	懇談会 瑞穂会館 2F (会費 2,000 円)